

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立芸術総合高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	芸術系専門学科の趣旨や特性を踏まえ、適切かつ明瞭な、インパクトのある学校像が設定されている。学校の置かれた状況や課題、寄せられる期待が的確に把握され、広く保護者や地域にも浸透している優れた学校像である。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、中期的な視点から重点目標が設定されている。やや一般的な目標になっているところもあるので、多角的な分析から生徒の実態や課題をより詳細に明らかにし、目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・学科等が連携して学校自己評価システムが運営されている。課題から導き出された評価項目が設定され、「具体的方策一覧表」により全教職員が取組を共有し、中間進捗状況の確認と中間評価を実施するなど、実効性のある工夫が行われている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標達成のため、分掌・学科・年次・事務室のシートが作成され、学科の取組が全体シートに反映されるなど、工夫した運営が実施されている。評価指標については、達成イメージを共有しにくいものがあるので、学校全体と分掌等で分かりやすいものを設定して、相互に活用するなどの工夫が望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が重点目標や評価項目などの達成に向けて共通理解を図り、取組を進めている。校長の的確なリーダーシップの下、課題の重点化と共有化に努めて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	次年度への課題と改善策を踏まえて評価項目の設定が行われ、「芸総アンバサダー会議」の設置など新たな取組が行われている。課題の解決に向けてアンケート結果や学校関係者の意見などを詳細に考察し、その結果を評価・反省に生かして、新しい角度からの取組を進めていただきたい。	
特記事項			